



## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月14日

上場会社名 ロジザード株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4391 URL <https://www.logizard.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 金澤 茂則  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三浦 英彦 (TEL) 03(5643)6228  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 2024年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期の業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,977	6.7	346	32.8	346	32.9	252	36.7
2023年6月期	1,853	4.6	260	△29.0	260	△29.0	184	△22.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	78.87	77.04	14.0	16.4	17.5
2023年6月期	58.11	56.71	11.4	13.7	14.1

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 ー百万円 2023年6月期 ー百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	2,256	1,924	85.3	599.49
2023年6月期	1,965	1,693	86.2	531.26

(参考) 自己資本 2024年6月期 1,924百万円 2023年6月期 1,693百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	351	△232	△35	1,537
2023年6月期	313	△58	△45	1,453

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00	38	20.7	2.4
2024年6月期	—	0.00	—	16.00	16.00	51	20.3	2.8
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		20.6	

## 3. 2025年6月期の業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,214	12.0	400	15.6	400	15.6	281	11.3	87.54

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期	3,291,000株	2023年6月期	3,279,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期	80,201株	2023年6月期	90,382株
③ 期中平均株式数	2024年6月期	3,201,738株	2023年6月期	3,178,699株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
サービス売上原価明細書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、物価高への対応に終始する一年でした。為替の円安進行による輸入品価格の高騰に加え、本格化する労働力の供給不足などを背景に、インフレが進行しております。これによって国民の実質賃金は、前年を下回る状況が続き、呼応するように実質消費支出も低下が続きました。次年度には賃上げの効果も見込まれるものの、一段と不安定化する世界情勢により経済の先行きに懸念を残す状況で推移しました。

また、物流業界においては、物価上昇により貨物量が見通しづらい環境の中にありながらも、慢性的な人手不足の解消に向け、人材の確保は勿論のこと、作業生産性の向上に向け技術導入を図り、2024年問題への対応の取組みを進めています。

このような環境下、当社は、①BtoBに広がるWMSニーズ、②人手不足を解消する自動化トレンド、③店舗のスマート化とオンラインとの融合等の動向に基づき取り組みを行ってまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,977,475千円（前年同期比6.7%増）、営業利益346,453千円（前年同期比32.8%増）、経常利益346,362千円（前年同期比32.9%増）、当期純利益252,534千円（前年同期比36.7%増）となりました。

なお、当社は、在庫管理システムを単一セグメントとしているため、セグメント別の記載を行っておりません。サービス別の業績については、以下のとおりであります。

#### (クラウドサービス)

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当事業年度における売上高は1,564,047千円（前期比7.0%増）及び売上総利益933,632千円（前期比7.8%増）となりました。

#### (開発・導入サービス)

当サービスにおいては、大型案件及び既存取引先からの継続案件の受注があったことにより、当事業年度における売上高は317,271千円（前期比0.1%増）となりました。また、開発案件の粗利率の向上により売上総利益103,147千円（前期比85.8%増）となりました。

#### (機器販売サービス)

当サービスにおいて、専用プリンター及び帳票などのサプライ品の販売は順調に推移し、当事業年度における売上高は96,156千円（前期比28.7%増）及び売上総利益40,741千円（前期比23.3%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産の残高は、前事業年度末に比べて291,381千円増加し、2,256,678千円となりました。

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて139,775千円増加し、1,860,141千円となりました。この主な要因は、売上増加による売掛金の増加及び資金を回収したことにより現金及び預金が増加したことによるものであります。

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて151,605千円増加し、396,536千円となりました。この主な要因は、「ロジガードZERO」の基本機能及びバージョンアップ機能追加によるソフトウェアが増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当事業年度末における負債の残高は、前事業年度末に比べて60,540千円増加し、331,839千円となりました。この主な要因は、前期の確定法人税に基づく中間納付額が少なかったため未払法人税等が増加したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて230,840千円増加し、1,924,838千円となりました。この主な要因は、当期純利益の計上により利益剰余金の増加があった一方、配当金の支払いがあったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前事業年度に比べ83,875千円増加し、1,537,575千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は351,279千円（前年同期比11.9%増）となりました。これは主に税引前当期純利益339,713千円及び減価償却費87,711千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は232,085千円（前年同期比294.5%増）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出169,137千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は35,318千円（前年同期比22.8%減）となりました。これは主に配当金の支払による支出38,198千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

物流業界は、人件費の上昇や家賃賃料の高騰、燃料価格の高止まりなどのコストが増加するなど、取り巻く環境は厳しいものであります。加えて、人手不足への対応は事業継続上の喫緊の課題となっております。

このように、一層の物流DXが望まれる状況下、人手不足の解消のための物流現場の生産性向上を担う自動化・省力化機能開発に取り組みを継続し、昨今BtoB領域にも広がるクラウドWMSニーズによる新たな市場の獲得を進める他、と、将来望まれるOMO(※1)時代の物流機能の開発、提供を行ってまいります。そのため、「顔の見えるクラウドサービス」をスローガンに顧客から信頼される高度人材育成への教育及び積極的な採用投資を行ってまいります。

上記施策により、通期個別業績見通の売上高は、2,214百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益400百万円（前年同期比15.6%増）、経常利益400百万円（前年同期比15.6%増）、当期純利益281百万円（前年同期比11.3%増）を予想しております。

※1 OMOとは、Online Merges with Offlineの略称で、オンラインがオフラインを区別することなく、オンライン上に統合された状態を構築することで、これまででない新しい購買体験を提供する概念、取り組みのことです。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,453,700	1,537,575
売掛金	177,859	228,328
契約資産	16,389	15,623
商品	2,608	2,978
仕掛品	14,473	19,642
未収還付法人税等	9,096	—
前払費用	23,435	33,790
その他	22,919	22,887
貸倒引当金	△116	△684
流動資産合計	1,720,366	1,860,141
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,603	34,091
減価償却累計額	△2,539	△3,391
建物（純額）	12,064	30,700
工具、器具及び備品	32,517	54,265
減価償却累計額	△15,410	△19,347
工具、器具及び備品（純額）	17,106	34,918
有形固定資産合計	29,171	65,618
無形固定資産		
ソフトウェア	149,147	236,431
ソフトウェア仮勘定	8,650	18,391
その他	41	41
無形固定資産合計	157,839	254,864
投資その他の資産		
出資金	100	100
長期前払費用	2,870	5,457
繰延税金資産	42,902	48,044
その他	12,363	22,733
貸倒引当金	△315	△282
投資その他の資産合計	57,920	76,053
固定資産合計	244,930	396,536
資産合計	1,965,296	2,256,678

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,697	24,709
未払金	85,320	103,894
未払費用	109,542	99,038
未払法人税等	7,469	73,524
前受金	8,626	8,390
預り金	2,940	8,811
その他	37,702	13,470
流動負債合計	271,299	331,839
負債合計	271,299	331,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	301,964	303,404
資本剰余金		
資本準備金	294,466	295,906
資本剰余金合計	294,466	295,906
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,241,755	1,453,008
利益剰余金合計	1,241,755	1,453,008
自己株式	△144,189	△127,481
株主資本合計	1,693,997	1,924,838
純資産合計	1,693,997	1,924,838
負債純資産合計	1,965,296	2,256,678

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高		
サービス売上高	1,779,116	1,881,318
商品売上高	74,690	96,156
売上高合計	1,853,807	1,977,475
売上原価		
サービス売上原価	857,684	844,539
商品売上原価		
商品期首棚卸高	3,698	2,608
当期商品仕入高	40,344	55,785
合計	44,043	58,393
商品期末棚卸高	2,608	2,978
商品売上原価合計	41,435	55,414
売上原価合計	899,120	899,954
売上総利益	954,686	1,077,521
販売費及び一般管理費	693,887	731,068
営業利益	260,799	346,453
営業外収益		
受取利息	11	13
還付加算金	—	50
その他	3	6
営業外収益合計	15	71
営業外費用		
為替差損	133	162
営業外費用合計	133	162
経常利益	260,681	346,362
特別損失		
固定資産除却損	20,234	6,648
その他	252	—
特別損失合計	20,487	6,648
税引前当期純利益	240,194	339,713
法人税、住民税及び事業税	56,462	92,321
法人税等調整額	△983	△5,142
法人税等合計	55,478	87,178
当期純利益	184,715	252,534



サービス売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費		—	—	—	—
II 労務費		547,282	51.6	583,380	51.0
III 経費	※1	513,137	48.4	560,150	49.0
当期総製造原価		1,060,420	100.0	1,143,531	100.0
期首仕掛品棚卸高		15,880	—	14,473	—
合計		1,076,300	—	1,158,004	—
期末仕掛品棚卸高		14,473	—	19,642	—
他勘定振替高	※2	204,142	—	293,823	—
当期サービス売上原価		857,684	—	844,539	—

(注) 原価計算の方法は、個別原価計算による実際原価計算であります。

※1. 主な内容は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
外注加工費(千円)	152,207	165,478
ライセンス料(千円)	44,405	34,741

※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
ソフトウェア仮勘定(千円)	63,959	174,538
受注支援費(販売費及び 一般管理費)(千円)	56,729	63,035
研究開発費(販売費及び 一般管理費)(千円)	52,791	40,400
教育研修費(販売費及び 一般管理費)(千円)	30,661	15,849
合計(千円)	204,142	293,823

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	301,184	293,686	293,686	1,111,750	1,111,750	△160,071	1,546,550	1,546,550
当期変動額								
新株の発行(新株予約権の行使)	780	780	780				1,560	1,560
剰余金の配当				△47,427	△47,427		△47,427	△47,427
当期純利益				184,715	184,715		184,715	184,715
自己株式の処分				△7,282	△7,282	15,882	8,599	8,599
当期変動額合計	780	780	780	130,005	130,005	15,882	147,447	147,447
当期末残高	301,964	294,466	294,466	1,241,755	1,241,755	△144,189	1,693,997	1,693,997

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	301,964	294,466	294,466	1,241,755	1,241,755	△144,189	1,693,997	1,693,997
当期変動額								
新株の発行(新株予約権の行使)	1,440	1,440	1,440				2,880	2,880
剰余金の配当				△38,263	△38,263		△38,263	△38,263
当期純利益				252,534	252,534		252,534	252,534
自己株式の処分				△3,017	△3,017	16,707	13,689	13,689
当期変動額合計	1,440	1,440	1,440	211,253	211,253	16,707	230,840	230,840
当期末残高	303,404	295,906	295,906	1,453,008	1,453,008	△127,481	1,924,838	1,924,838

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	240,194	339,713
減価償却費	72,418	87,711
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△365	534
固定資産除却損	20,234	6,648
受取利息	△11	△13
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,892	△50,468
契約資産の増減額 (△は増加)	74,473	766
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,497	△5,539
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,596	5,011
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,242	811
その他の負債の増減額 (△は減少)	61,994	△12,068
その他	252	—
小計	459,149	373,107
利息の受取額	11	13
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△145,324	△21,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,836	351,279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,200	△48,902
無形固定資産の取得による支出	△61,822	△169,137
その他	4,197	△14,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,824	△232,085
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による収入	1,560	2,880
配当金の支払額	△47,331	△38,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,771	△35,318
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	209,240	83,875
現金及び現金同等物の期首残高	1,244,459	1,453,700
現金及び現金同等物の期末残高	1,453,700	1,537,575

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、在庫管理システム事業を単一セグメントとしているため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	クラウドサービス	開発・導入サービス	機器販売サービス	合計
外部顧客への売上高	1,462,032	317,083	74,690	1,853,807

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	クラウドサービス	開発・導入サービス	機器販売サービス	合計
外部顧客への売上高	1,564,047	317,271	96,156	1,977,475

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	531.26円	599.49円
1株当たり当期純利益	58.11円	78.87円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	56.71円	77.04円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	184,715	252,534
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	184,715	252,534
普通株式の期中平均株式数(株)	3,178,699	3,201,738
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	78,337	76,273
(うち新株予約権(株))	(78,337)	(76,273)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。